

| | |
|------|---|
| ◆企画名 | Welcome to ピア・コミュニティ |
| 日程 | 2016年6月7日(火)、6月15日(水) |
| 場所 | 総合学生会館凜風館4階 ミーティングルーム |
| 参加者数 | 7日:18名(ピア・サポーター7人、研修生6人、学生支援室TA3人、職員2人) 15日:16名(ピア・サポーター5人、研修生7人、学生支援室TA2人、職員2人) |

目 的

- ①今年度新しくピア・コミュニティに入った研修生に対して、各コミュニティの活動内容を知ってもらいピア・コミュニティに馴染んでもらう。
- ②鍵の管理やピアエリアの利用方法について説明することで、新規研修生が今後ピアエリアを利用しやすいようにする。
- ③研修生同士の交流を促進することで、今後活動するにあたり、コミュニティ間の連携につなげる。
- ④楽しみながらできるワークを行い、新規研修生がピア・コミュニティでの活動を楽しい、と思えるようにする。

内 容

(共通点探しゲーム)

ペアを作り、お互いの出身地や好きな食べ物など、3分間の中でできるだけ質問を繰り返し、同じ答えになったものを共通点とし前のホワイトボードに書き出してもらった。最後に、同じ食べ物や映画など、その答えになった過程等を何人かに話してもらった。

(ピア・クエスチョン)

ピアのことをより深く理解してもらうためにまずコミュニティ紹介を行い、その後ピアに関するクイズ「ピア・クエスチョン」を行った。ピアでの企画実施までの流れを大まかに説明しつつ、その途中で企画の流れに関する質問を行った。グループに分かれてもらい、それぞれのグループで考えた答えをヌーボードに記入し全員で答えを共有した後、正解を発表した。

(備品説明)

ピアエリアに移動し、ピアエリアや備品を使用する際の注意点、備品台帳の記入の仕方等を説明した。

効 果

- ・参加者にとってはピアエリアについての注意事項や、備品についてを知る良い機会となった。
- ・それぞれが積極的に話しかけ合い楽しんで会話をし、グループで一緒に考えることによってこれからピアの一員として活動していくことの団結力が強まった。
- ・今回の企画を通し、他のコミュニティの人たちと親睦を深めることができた。

改 善 点

- ・ワークの内容がすぐに決まらず、準備時間が短くなってしまった。
- ・欠席者が出た場合の事を想定しておらず、グループワークの際、急なメンバー変更戸惑ってしまった。
- ・運営本部のメンバー間で机や椅子の配置の周知が行き届いておらず、さらにミーティングルームの使い方を把握していなかったことで、当日の時間のロスに繋がってしまい、参加者を待たせてしまった。

感 想

- ・参加者に楽しんでワークを行ってもらえたのでやりがいがあった。
- ・自らもこの企画で他のコミュニティのサポーターと話ことができ、楽しい時間を過ごすことができた。